

愛媛県看護連盟南予地区合同役員・リーダー研修会

開催日時 令和4年10月29日（土曜日）10時30分～12時

会場 西予市図書交流館 まなびあん

研修アンケート結果

回答数：45名

1. 年齢

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
0名	5名	16名	19名	5名

2. 所属する施設

急性期	慢性期	介護施設	訪問看護ステーション	その他
28名	13名	1名	1名	3名（内訳：自宅2名、福祉施設1名）

3. 今回の研修に期待されたことに対して満足されましたか。

1. かなり満足できた	2. 大体満足できた	3. あまり満足できなかった	4. まったく満足できなかった
18名	27名	0名	0名

4. 今回の研修の形態、運営について意見

良かった点

【講義内容について】

- ・ 講義内容が分かり易く、楽しい講義で理解しやすかった。
- ・ データーで活動実績や課題が明確にされ、スライドがとても解りやすかった。
- ・ 講義内容ももちろん、熱量が伝わり大変良かった。
- ・ ガイドブックの新旧の比較が参考になった。
- ・ 看護連盟の役割や活動内容を詳しく理解することが出来た。
- ・ 会員獲得をするための活動が良く分かった。
- ・ 今後、リーダーとしてどう説明していくか、具体的によく分かった。
- ・ 看護連盟の事を他の方たちに一人でも説明する参考となった。
- ・ 連盟参加の大切さ、必要性が簡単に分かりやすく、再認識することが出来た。
- ・ 新居浜第一支部の具体的な取り組みや活動内容が理解でき、今後の参考にしたいと思った。
- ・ 講義内容が身近な感じで自覚出来た。
- ・ 他施設の看護連盟活動の力の入れ方にびっくりした。
- ・ 「社会人基礎力」「自立」の重要性が響いた。
- ・ 連盟についてもっと知ろうと思った。
- ・ 友納りおさんを知ってもらおう活動、ポスターの貼り位置、学生に対しての活動、新聞作成等活発な活動内容が聞けた。
- ・ 役員をすること、入会者に説明することがとても分かりやすく、参考になった。
- ・ 三役の活動に興味があり、来れば自律を目指して活動推進に努めたいと思った。
- ・ 学生も頑張っていること、学生（連盟クラブ）の活動が学べた。

[感染対策]

- ・広い会場で参加者どうしの間隔も開けて受けることが出来た。
- ・グループワークはコロナがあり不安なので、なくて安心した。

[時間配分]

- ・10時受付、10時30分開始が参加まで余裕ができ、時間通りの運営でき良かった。
- ・研修時間も短くて、集中して聞くことが出来た。
- ・開始時間も良く、時間配分も良かった。
- ・研修時間が丁度良い。

[環境]

- ・広く綺麗な施設で開催してもらって良かった。
- ・広々とした会場でゆったり出来た。

悪かった点

- ・一人ではなく、二人ぐらいの講師で視点を変えて欲しかった。
- ・色々な講師の話を聞きたい、1時間でも良いので。
- ・感染予防のため、窓を開けており、室温がやや寒かった。
- ・駐車場の利用車が多く、当日停められないか不安になった。
- ・開始時間が遅かった分、終了時間オーバーになった。

5. 今後連盟の研修会にどのようなテーマ、講師を取り上げてほしいか。

- ・衆議院と参議院の違い、実際の活動報告（石田まさひろ・友納りお）
- ・政治の場での活動内容を詳しく、話しが聞ける場があればよい。
- ・連盟の話だけでなく、せっかくなので、精神的にあがるような講和楽しい話しなど。
- ・連盟活動トップクラスの県の講師の方の講義が聞きたい。
- ・今までの取り組みは解ったので、今の取り組み、今後の活動を知りたい。
- ・連盟の活動内容について、若い人達に向けた研修をすることで、会員数が増えるきっかけになるのではないか。

6. 政策として取り組んで欲しい内容

- ・看護師不足に対しての人材確保。
- ・サービス残業をなくす。
- ・有休休暇取得を進める。取れなかった有休休暇の買い取り。
- ・諸手当の賃上げ。
- ・夜勤手当の賃上げ。
- ・当直した後は必ず休暇。
- ・看護職に対しての平等な保障、年金制度があれば良いと思う。
- ・若手人員の現場対応力を上げるための、教育期間を設ける。（医師の研修医制度の様な）現場は戦力が欲しい、若手ばかり増えてもリーダー格の責任が上がる。
- ・研修施設を僻地にも。（行きたくても家族がいたら県外に行けない）
- ・特定行為範囲の更なる拡充。
- ・急性期以外の病院の看護師の賃金のベースアップ（診療所の看護師もコロナ対応発熱外来対応をし

ています。老健施設やデイサービスの看護師も発熱者の対応をしています。)

7. その他連盟に対する意見・希望

- ・議員の活躍されているところ、国会等登場される時などの情報が得られれば良い。
- ・立场上勤務場所での、活動は難しいことが多い、重圧が感じられた。
- ・待遇への不満を動機とした、活動は続かないと個人的に最近感じている。どうすれば、ポジティブなイメージで活動を推進できるか考えて行きます。
- ・会員の呼びかけを積極的にしていきます。
- ・若手の会は聞いたことはあったが、今まで深く知ろうとしなかったのが現状です。発信力のある人、リーダーとして活動をしっかりしていける人を、病院にもつくり活動をしていくべきだと思った。
- ・看護協会の新規入会者が減っている事に驚いた。現場でも、一度退職した方が再任されて勤務しているが、その方たちが看護協会と連盟を退会されるのが残念だと思う。
- ・60～64歳・65歳以上の会員もいるのに驚いた。賛助会員という会員活動があることも知ったので今後、一度退職された方に進めてみようと思った。